

2023年度
(令和5年度)

事業報告書

目次

| | | |
|-----|-----------------|----|
| I | 2023年度事業報告 | 2 |
| | 1. 国内における平和構築活動 | 2 |
| | 2. 海外における平和構築活動 | 8 |
| II | 組織 | 11 |
| III | 会議 | 14 |



公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟

2023 年度事業報告にあたって

2023 年度は、ロシアによるウクライナ侵攻が膠着状態となる中、パレスチナにおけるイスラエルとの武力衝突も発生した。世界の他の地域においても、安全や基本的人権が脅かされる状態が続く場所も依然として少なくない。また、国内外を問わず、コロナ禍や大規模災害においても、その影響の多くを社会経済的に立場の弱い人びとが受けている。こうした背景を踏まえ、私たちは、教育を軸として、国内・海外で格差を減らすことを目指して、以下の重点事業をはじめとする各事業を展開した。

1. 「世界寺子屋運動」では、カンボジア、ネパールにおける貧困層の成人と子どもたちに対し基礎教育や職業訓練・意識啓発の機会を提供したほか、国外に逃れたミャンマー人青年らに識字教育を実施することができた。アフガニスタンでは、経済的に最も困難な状況にある人びとが職業訓練を受けるための環境整備に尽力した。現地の人びとが希望を持てる場とすべく、来年度早い時期に支援を開始したい。

2. 「災害子ども教育支援」では、秋田県豪雨災害被災地の教育施設 3 か所に対して、本事業のガイドラインが定める 1 か所あたりの最大規模の支援を含む復興・復旧支援が実現した。1 月 1 日に発生した能登半島地震においては、来年度早々の支援実施にむけて、学校等への支援および被災により経済状況が著しく悪化した世帯の子どもの教育支援（給付型奨学金）ニーズなどを視野に計画を立て、2024 年 6 月までの本事業を指定した寄付をすべて充てる方針とした。

3. 地域協働型包括教育支援事業「U-Smile ～みんなでつなぐ子ども応援プログラム」を立ち上げ、本格的に始動する年となった。山口県宇部市と連携協定を締結、当連盟および宇部ユネスコ協会のほか、行政・地元企業・市民団体等がそれぞれの専門性を生かして参画する仕組みを構築のうえ活動を開始した。その他にも 3 つの地域で、ユネスコ協会・クラブによる子ども支援活動を展開することができた。

計画時に重点事業とした上記以外にも、文化の領域において、2023 年度から新たな取り組みを開始した。UNESCO ジャカルタ事務所との協働で、世界遺産ポロブドゥール寺院遺跡群周辺地域において、伝統的家屋保全に寄与するプログラムと、主に大学生による地域の課題解決への取り組みを後押しするプログラムを、来年度にかけて継続する。

2023 年度も、多くの会員、募金者、ならびに専門家などの協力で、多岐にわたる事業を通じて、目指した成果を上げることができた。今後も、ユネスコ活動の精神に基づき、趣旨に共感いただける関係者と共に、より効果的な事業推進につとめたい。

I 2023 年度事業報告

1. 国内における平和構築活動

(1) 子ども教育支援

子どもたちが安心して就学できる環境を整備する教育支援および質の高い教育を提供するプログラムを行う。

① 自然災害の被災地における教育復興支援

自然災害で被災した児童・生徒を対象にした、奨学金給付等の教育支援を行う。

(a) ユネスコ協会就学支援奨学金

東日本大震災で被災し、経済状況が悪化した家庭の子ども（中学3年生～高校2年生）を対象に、給付型奨学金（一人当たり2万円/月・3年間）を継続して実施した。2023年度は2021年度・2022年度に採用した奨学生への2年目、3年目の給付、および2023年度に新規採用した奨学生に1年目の給付を行い、計507名を支援した。また、ユネスコ協会就学支援奨学金の募金者や会員などへ、当事業の成果を報告するため、「ユネスコ協会就学支援奨学金レポート2022」を4,000部制作し配布した。

(b) MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金

三菱UFJフィナンシャル・グループと協働で、東日本大震災により遺児・孤児となった子どもたちが、小学校入学から高校を卒業するまでの奨学金プログラムを継続して実施した。2023年度は135名に2万円/月の奨学金を給付した。

(c) 災害子ども教育支援

自然災害によって被災した国内の学校等を対象にした助成や、被災生徒を対象にした奨学金支援（返還不要）、復興ボランティアを行う青年等に対する支援を行う。

2023年度は対象となった災害において被災し、支援申請のあった秋田県の高校1校、およびこども園・保育園2園に対して、破損した学習用品等の物品購入費の支援（計2,200,000円）を実施した。

2024年1月1日に発生した能登半島地震を受け、6月までの本事業の寄付金を今後の支援活動に充てることとした。

② SDGs達成に向けた次世代育成

持続可能な社会の実現のために、教員や学校に対する教育研修プログラムを行う。

(a) アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

アクサ生命保険株式会社の協力で、学校現場における防災・減災教育推進を支援した。

- 1) 助成校30校を採用（公募）し、1校につき10万円の助成金を支給した。
- 2) 2023年9月21日～23日、教員研修会を実施（仙台市、気仙沼市）。2023年度助成校教員30名、学校との協働枠で地域ユネスコ協会職員2名、計32名が参加した。
- 3) 2024年2月2日、活動報告会を実施。2023年度助成校教員29名および地域ユネスコ協会職員2名、計31名が参加した。
- 4) 2024年2月3日、減災教育フォーラム（一般公開）を実施（東京都、オンライン配信）。教員、教育関係者他213名が参加。基調講演、パネルディスカッション、被災地の学校の実践事例などにより、減災の知見を深めた。

(b) 教育ツール開発事業

児童・生徒がSDGsへの取り組み、とくにSDG4.6の非識字という世界的課題を学び、リーフレットの制作を行うなど、教育ツールを開発する事業への支援を行った。世界寺子屋運動をテーマに学び、身近な国際協力のきっかけとする学習プロジェクト「寺子屋リーフレット制作プロジェクト」には、全国の小・中・高等学校から22校1,800名が参加した。

(c) ユネスコスクール推進事業

青少年へのユネスコ活動普及のために、全国のユネスコスクールを対象とし、SDGsへの取り組みを、株式会社三菱UFJ銀行の協力を得て支援した（第14期ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト）。2023年度は、83校に対して助成を行った。また、12月にオンラインで助成校による活動報告会を2回実施し、小学校5校、中・高等学校5校の計10校が参加した。

③ その他の類する事業

(a) 地域協働型包括教育支援事業

「U-Smile ～みんなでつなぐ子ども応援プログラム～」略称：U-Smileプログラム
相対的貧困等により国内で困難な状況に置かれている子どもたちを対象に、地域のユネスコ協会、他団体、行政、企業等と連携し、教育支援、居場所支援等の地域協働型の包括的教育支援を実施した。

1) 助成金

協会連盟ホームページ等にて、地域のユネスコ協会・クラブが実施する本事業の主旨に沿う活動を募集し、助成金審査会を経て、3件の助成金を支給した。

| | | |
|------------|-------------|-------|
| 維新隊ユネスコクラブ | 食事付学習支援（前橋） | 300万円 |
| 維新隊ユネスコクラブ | 食事付学習支援（高知） | 400万円 |
| 箕面ユネスコ協会 | 地域連携による学習支援 | 300万円 |

2) 宇部市「こどもの未来共創ワーキングチーム」の推進

宇部市と「こどもの未来共創に関わる連携協定」を締結した。地域のユネスコ協会、他団体、企業等をメンバーとした地域連携によるワーキングチームを組成した。困難な状況に置かれた子どもたちへの支援体制構築等を協議し、ネットワーク化を推進した。また、「こどもの未来共創フォーラム」を開催し、啓発活動を行った。

(2) 地域遺産・世界遺産の保護保全・啓発

世界遺産ならびに地域の文化や自然の保護・保全、啓発活動を行う。

① 地域遺産の保護・保全支援

地域の文化や自然の保護・保全活動を支援し、次世代への継承を行う。

(a) 未来遺産運動

100年後の子どもたちに文化や自然を継承することを目指し、地域で活躍する団体を顕彰し、応援することを目的に、東日本旅客鉄道株式会社、住友ゴム工業株式会社、ジェットスター・ジャパン株式会社、読売新聞社等の協力・後援を得て実施した。

「プロジェクト未来遺産」の募集には全国から19件の応募が寄せられた。各分野の専門家による書類選考と現地調査を行った上で、2024年3月8日に開催した未来遺産委員会にて「プロジェクト未来遺産2023」を4件決定した。

—「プロジェクト未来遺産2023」(プロジェクト名、団体名/所在地)—

- 1) 巨大防浪堤を未来へ～岩手県宮古市田老の津波防災伝承活動～
(特定非営利活動法人 津波太郎/岩手県宮古市)
- 2) 伝統芸能石見神楽を未来に継承サポートプロジェクト
(どんちっちサポートIWAMI/島根県浜田市)
- 3) 歩こう子どもたち！～未来につながる「備中とと道」～
(備中とと道トレイル推進協議会/岡山県笠岡市、矢掛町、井原市、高梁市)
- 4) 五島に残る玉之浦神楽～子どもたちへの伝承プロジェクト～
(白鳥神社神楽保存会/長崎県五島市)

② 世界遺産の保護・保全支援

世界遺産カレンダー制作協力、世界遺産に関する各種問い合わせ対応などを引き続き行った。

③ その他の類する事業

(3) 多文化共生促進

国籍や民族等の異なる文化を認め合い、学び合い、共生に向けた相互理解を促進する。

① 国際理解・交流プログラム

連盟の支援対象地域を含む国々の多様な文化を学び、相互理解を促進する機会を提供する。

(a) スタディツアー

当連盟の寺子屋運動実施国に参加者公募の上、審査を経て、ユースや協力者等を派遣するプログラム。高校生を対象にしたスタディツアーは、公益財団法人かめのり財団との共催。2023年度はオンラインにて、2023年8月19日（土）、20日（日）の2日間にわたり開催した。全国から3校18名の生徒と、カンボジア事務所や現地の寺子屋、学習者の自宅などをオンラインでつなぎ、現地の人びととの交流を通じて民間ユネスコ運動による国際協力を学ぶ機会を提供した。

(b) 三菱アジア子ども絵日記フェスタ

三菱広報委員会およびAFUCAと共催で行うアジア（24の国と地域）の6歳から12歳を対象とした絵日記コンテスト。

2023年度は、第16期（2024-2025年）の絵日記作品募集が2024年6月から始まるにあたり、小学校への訪問や出前授業、過去の絵日記作品のパネルを活用した展示会の開催などを通じて事業の認知度向上を図った。また、海外のパートナー団体を訪問し、第16期事業に関する情報提供や意見交換を行った。

② UNESCO関連団体との連携促進

UNESCOをはじめ、WFUCA（世界ユネスコ協会クラブ・センター連盟）やAFUCA（アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟）と連携をはかり、民間ユネスコ運動を推進した。

(a) 世界ユネスコ協会クラブ・センター連盟（WFUCA）の活動振興

世界で民間ユネスコ運動の普及のために活動する同連盟（WFUCA）と連携し、ユネスコ精神のさらなる普及を図るための情報交換を行った。

2023年10月に韓国・ソウルで行われた「第10回WFUCA世界大会」に参加し、アジア地域の民間ユネスコ活動について報告したほか、参加した各国連盟と意見交換を行った。また、WFUCA事務局と連携して役員選挙など大会運営をサポートした。

(b) アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟（AFUCA）の活動振興

アジア太平洋地域で民間ユネスコ運動の普及のために活動する各国の協会連盟と連携を図り、ユネスコ活動を推進した。

(c) UNESCO、関係団体との連携

UNESCO との協力協定（日本国内における UNESCO への資金調達）に基づき、UNESCO 及び「UNESCO 公式サポーター」企業との連携を行った。

③ その他の類する事業

(4) 地域草の根推進

平和な社会の実現に向け、地域の課題解決に資する民間ユネスコ運動を推進する。

① 地域草の根プログラム

会員および開催地等の市民が集い、地域から平和を考える各種会合を行う。

(a) 第79回日本ユネスコ運動全国大会

民間ユネスコ活動推進のため1年に1回、全国の会員が集い、会員及び開催地市民に、日ごろのユネスコ活動の情報提供を行うとともに、大会テーマについて研鑽を深めた。2023年度は、山梨県富士吉田市で開催し、約300人が参加した。

テーマ ユネスコを楽しもう さあ～みんなでGO！
～若い力を育む 富士の国からこんにちは～

日 程 2023年9月9日（土）

会 場 ふじさんホール

主 催 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

山梨県ユネスコ連絡協議会（主管：山梨市ユネスコ協会）

(b) ブロック別ユネスコ活動研究会（全国8ブロック）

民間ユネスコ運動推進のため、会員および開催地の市民を対象とした研究会を、全国8ブロックで開催した。

10月21日（土）北海道ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：千歳ユネスコ協会）

10月14日（土）東北ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：秋田ユネスコ協会）

9月 3日（日）関東ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：東京都ユネスコ連絡協議会）

10月 7日（土）中部西ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：三重県ユネスコ連絡協議会）

11月12日（日）近畿ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：飛鳥・橿原ユネスコ協会）

6月24日（土）中国ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：岩国ユネスコ協会）

9月 3日（日）四国ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：四国中央ユネスコ協会）

11月11日（土）九州ブロック・ユネスコ活動研究会（主管：佐賀ユネスコ協会）

② ユースプログラム

青少年の育成に資する民間ユネスコ運動を推進する。

(a) 青少年活動助成

全国のユネスコ協会・クラブが行う青少年を対象としたSDGs実現に資する活動に対して、2023年度は合計で26件の助成を行った（助成総額：1,416,166円）。会員用ホームページ等にて募集し、審査を経て助成事業を決定した。

(b) 青年ネットワーク強化

青年評議員及び全国的青年連絡組織等による青年のネットワーク強化を検討する会議を開催し、青年全国大会の支援などを行った。

(c) みどりの絵コンクール

環境意識の啓発を目的に、公益財団法人三菱 UFJ 環境財団との共催で、第 48 回「みどりの絵コンクール」を実施した。当コンクールへの応募総数 24,537 点の中から、最優秀賞 9 点・優秀賞 32 点・入選 354 点を選考した。また、2023 年 12 月 9 日、如水会館（東京都千代田区）にて最優秀賞の表彰式を実施した。

③ 活性化推進プログラム

民間ユネスコ運動の次世代の担い手（ボランティア）を育成し、さらなる活性化を推進した。

(a) 日ユ協連リーダーセミナー

これからの民間ユネスコ運動の担い手を対象にオンラインセミナーを実施した。
2024年3月9日（土）
「故郷を失った難民の日々～シリア難民から考える世界～」(参加者34名)

(b) 民間ユネスコ運動の普及、促進

民間ユネスコ運動の日（「平和の鐘を鳴らそう」等含む）の普及、ユネスコ協会の新設、ユネスコ協会便の配信、動画配信、文部科学省・日本ユネスコ国内委員会等との連携を行った。

④ その他の類する事業

(5) 普及広報・財務強化

UNESCO憲章の理念に基づき、平和や教育、文化等の重要性を発信し、SDGs達成に寄与する。

① 広報・PR

社会を巻き込み、当連盟が取り組む活動の認知向上を目指して広報・PRを行う。

(a) 機関誌、活動レポート、ホームページ、メールマガジン、YouTube、プレスリリース、SNS等における広報・PR

(b) 後援・共催等、他社主催事業・イベントへの協力

名義後援の対応を行い、日本ユネスコ協会連盟賞等を授与した。

② ファンドレイジング施策

SDGsの達成のために、賛同者を増やし、財政基盤の安定・拡大をはかる。

(a) 募金増強施策の実施

遺贈に関する広報施策の実施や、新規事業のパンフレット等の広報ツールを制作・活用した。

(b) 寄付企画、会員拡充施策の実施

会員の拡充および企業等との連携強化を通じたファンドレイジング活動を実施した。

③ その他の類する事業

2. 海外における平和構築活動

(1) 途上国における教育支援

途上国において、公的教育を受けられない大人や子どもを対象に、基本的人権である教育の機会を提供する。

① 識字教育支援（世界寺子屋運動）

現地の教育省等と連携し、教育を受けられなかった大人や、公教育を受けられずにいる子どもたちへの識字教育支援、技術訓練等を行った。

(a) アフガニスタン（アフガニスタン寺子屋プロジェクト）

政変の影響により2021年8月以降の活動を休止していたが、治安の改善を受け、8月には識字局との連携のもと、以前建設した寺子屋の修繕を実施した。事業の本格的な再開を目指し、教育省に加え、労働省や商工会議所等と職業訓練事業実施にかかる交渉を行った。2024年3月には労働省と覚書を締結し、2024年度中に成人（15歳以上）を対象とした技術訓練等をカブール県内において実施予定。

(b) カンボジア（アンコール寺子屋プロジェクト）

シェムリアップ州教育局と連携し、スバイルー郡に寺子屋1軒を建設した。加えて、成人（15歳以上）を対象とした識字教育、及び学校を中途退学した子どもへの支援として公教育への復学支援クラス、幼稚園クラスを実施し、892名に学びの機会を提供した。

(c) ネパール

世界遺産「ルンビニ」地域の3郡において新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子どもを対象とした幼稚園クラス、初等教育クラスおよび生徒の保護者への収入向上活動や家庭内での基礎識字クラスなどを実施し、1,178人が参加した。クラスに通う保護者への啓発活動や、女子生徒を対象とした公衆衛生や女性の権利に関する研修を実施した。さらに、寺子屋を運営する運営委員の能力開発や寺子屋と地方政府の連携強化のためのワークショップなどを開催した。

(d) ミャンマー

政変の影響により2021年3月以降、国内での活動を休止しているが、ミャンマー国内での活動再開は困難と判断。2024年2月からUNESCOダッカ事務所が行うバングラデシュのコックスバザールにおけるロヒンギャ難民の青年を対象とした識字・技術訓練及び難民キャンプ周辺住民への技術訓練を支援した。約300人が識字（ビルマ語と英語）を学び、移動式床屋や手工芸品づくりなどの研修を受けた。

② 識字教育普及促進プログラム

各地ユネスコ協会・クラブ、企業、団体、ユネスコスクール等と連携し、世界の識字問題の理解促進をはかる。

(a) 書きそんじハガキキャンペーン

2023年12月から2024年5月までを強化期間として、各地のユネスコ協会・クラブ及び企業、団体、個人の方々へのPR活動を行った。また、企業の協力を得て、雑誌や新聞、ラジオ等でも回収を呼び掛けた。

③ その他の類する事業

(a) 他社主催イベントへの協力

NHKが主催する教育コンテンツの国際コンクール「日本賞」において、これまで日本ユネスコ協会連盟賞を授与していたが、NHK側の仕様変更に伴い、2023年度は実施されなかった。

(2) 途上国への医療・食糧支援（一杯のスプーン）

途上国のアジア諸国における貧困層を対象に無償の医療、食糧支援を行う。

① 医療・食糧支援（一杯のスプーン）

世界寺子屋運動を展開しているネパール、アフガニスタンにおいて、無償で医療・食糧支援を行う。

(a) ネパール

ルンビニの寺子屋が行う巡回健診や眼科検診、地域の人びとへの母子保健に関する研修を実施し、1,646人が健診、及び研修に参加した。

(b) アフガニスタン

カブール市内のクリニックでの医療活動や薬の提供、リハビリ治療などを行い、累計で10万人以上がクリニックを利用した。

② その他の類する事業

ウクライナ情勢を受け、2022年3月4日に「ユネスコ協会・ウクライナ緊急募金」を開設。ルーマニアのユネスコ連盟やスロバキアのNGOと連携し、ウクライナ国内をはじめ、ルーマニアやスロバキアに避難してきた人びとに対するメンタルケア、及び子どもたちの心理的ケアを担う教員等への研修を実施した。

(3) 世界遺産保護・保全支援

人材の育成や修復、世界遺産教育等を通じて、世界遺産の保護・保全を推進する。

① 世界遺産保護、保全支援

アジア諸国の世界遺産を中心に、修復技術の移転、人材育成、世界遺産教育を行った。

(a) カンボジア

世界遺産「アンコール」周辺地域における住民の意識啓発を目的に、子ども（小学校相当）を対象とした塗り絵教材を活用した世界遺産学習プロジェクトを実施した。2023年12月8日～9日に、15の寺子屋で学ぶ、268名の子どもたちを対象にアンコール遺跡を訪問するスタディビジットを実施した。

また、寺子屋の指導者および小学校教員を対象に、事前研修会を2023年10月30日～31日に開催した。

(b) インドネシア

UNESCOジャカルタ事務所と連携し、世界遺産「ボロブドゥール寺院遺跡群」周辺地域において、伝統的家屋を維持するための住民の意識啓発、及び現地の大学生が取り組む同地域の課題解決プロジェクトを開始した。

2023年11月29日にキックオフイベントとして、インドネシアの学生を対象に世界遺産に関するオンラインワークショップを開催した。

② その他の類する事業

Ⅱ 組織

(2024年3月31日現在)

1. 理事 (22) (五十音順) (* 代表理事)

| | | | |
|-----|--------|---------------------------------|---------|
| 会長 | 佐藤 美樹* | 朝日生命保険相互会社 特別顧問 | 非常勤<維持> |
| 副会長 | 大津 和子 | 北海道ユネスコ連絡協議会 会長 | 非常勤<構成> |
| 副会長 | 見上 一幸 | 公益社団法人仙台ユネスコ協会 会長 | 非常勤<構成> |
| 理事長 | 鈴木 佑司* | 法政大学名誉教授 | 非常勤<個人> |
| 理事 | 池田 敬介 | 東京都ユネスコ連絡協議会 監事 | 非常勤<構成> |
| 理事 | 井上 波 | 株式会社TBSホールディングス サステナビリティ創造センター長 | 非常勤<維持> |
| 理事 | 今中 麻美 | 名古屋ユネスコ協会青年部 副代表 | 非常勤<青年> |
| 理事 | 大矢 和子 | 株式会社イオンファンタジー 取締役 | 非常勤<会推> |
| 理事 | 小山田 隆 | 三菱UFJ銀行 特別顧問 | 非常勤<個人> |
| 理事 | 岸 正博 | 群馬県ユネスコ連絡協議会 会長 | 非常勤<構成> |
| 理事 | 木曾 功 | 元UNESCO政府代表部 特命全権大使 | 非常勤<会推> |
| 理事 | 小林 敬一 | 古河電気工業株式会社 取締役会長 | 非常勤<会推> |
| 理事 | 白石 勝洋 | 久留米ユネスコ協会 会長 | 非常勤<構成> |
| 理事 | 鈴木 昌徳 | 津山ユネスコ協会 会長 | 非常勤<構成> |
| 理事 | 土居 英雄 | 松山ユネスコ協会 会長 | 非常勤<構成> |
| 理事 | 永田 佳之 | 聖心女子大学現代教養学部教育学科 教授 | 非常勤<会推> |
| 理事 | 中谷 祐太 | 公益社団法人仙台ユネスコ協会 | 非常勤<青年> |
| 理事 | 名須川 知子 | OMEP日本委員会 会長 | 非常勤<賛助> |
| 理事 | 平井 花画 | 岐阜県ユネスコ協会 会長 | 非常勤<構成> |
| 理事 | 松前 進 | 厚木ユネスコ協会 会長 | 非常勤<構成> |
| 理事 | 安田 昌則 | 大牟田市教育委員会 前教育長 | 非常勤<個人> |
| 理事 | 山中 健 | 芦屋ユネスコ協会 会長 | 非常勤<構成> |

(注) <構成> : 構成団体会員代表、<賛助> : 賛助団体会員代表、<個人> : 個人会員代表、
<維持> : 維持会員代表、<青年> : 青年代表、<会推> : 会長推薦

2. 監事 (3)

| | | | |
|----|-------|-------------------------|-----|
| 監事 | 齋藤 晴正 | 株式会社増田屋コーポレーション 代表取締役社長 | 非常勤 |
| 監事 | 増田 正志 | 増田公認会計士事務所 公認会計士 | 非常勤 |
| 監事 | 吉崎 晴子 | 特定非営利活動法人市川市ユネスコ協会 特別顧問 | 非常勤 |

3. 名誉会長 (1)

大橋洋治

4. 顧問 (9)

加藤玲子 千 玄室 千葉杲弘 西村幸夫 野口 昇 濱中昭一郎
松浦晃一郎 村田昌志 米田伸次

5. 評議員数

| 会員種別 | 人数 | 定員 |
|-------------|------|--------|
| 構成団体会員 | 79人 | 82人以内 |
| (うち青年代表) | (8人) | (9人以内) |
| (うち国内委員会委員) | (9人) | (9人以内) |
| 賛助団体会員 | 2人 | 2人以内 |
| 個人会員 | 8人 | 8人以内 |
| 維持会員 | 5人 | 5人以内 |
| 計 | 94人 | 97人以内 |

6. 会員数

| 会員種別 | 2022年度末 | 減 | 増 | 2023年度末 |
|-----------|---------|----|---|---------|
| 構成団体会員 | 274 | 3 | 1 | 272 |
| 賛助団体会員 | 18 | 0 | 0 | 18 |
| 個人・終身個人会員 | 186 | 11 | 5 | 180 |
| 維持会員 | 141 | 5 | 1 | 137 |
| 計 | 619 | 19 | 7 | 607 |

7. 会員の異動

構成団体会員

<入会> 1

高知ユネスコ協会

2024年1月20日第561回理事会承認

<退会> 3

浅草ユネスコ協会、中之条ユネスコ協会、那賀・青洲ユネスコ協会

賛助団体会員

<入会> 0

<退会> 0

個人会員

<入会> 5

小林 敬一

2023年6月17日第556回理事会承認

小林 洋子

2023年6月17日第556回理事会承認

大矢 和子

2023年7月15日第558回理事会承認

関口 広隆

2023年9月16日第559回理事会承認

森田 和彦

2024年1月20日第561回理事会承認

<退会> 11

維持会員

<入会> 1

株式会社増田屋コーポレーション

2023年5月20日第554回理事会承認

<退会> 5

8. 地域的なユネスコ活動の領域を代表する日本ユネスコ国内委員会委員(2024年3月末現在)

| | | |
|---------|--------|-----------------------------------|
| 北海道 | 押谷 一 | (江別ユネスコ協会会長) |
| 東北 | 藤本 恵子 | (秋田ユネスコ協会副会長) |
| 関東・甲信越 | 松本 千恵子 | (群馬県ユネスコ連絡協議会前事務局長、高崎ユネスコ協会事務局次長) |
| 関東・甲信越 | 小池 治 | (特定非営利活動法人鎌倉ユネスコ協会理事) |
| 中部 | 高木 要志男 | (富山ユネスコ協会会長) |
| 近畿 | 大濱 淳子 | (大阪府ユネスコ連絡協議会監事、箕面ユネスコ協会副会長) |
| 中国 | 鈴木 昌徳 | (津山ユネスコ協会会長、岡山県ユネスコ連絡協議会会長) |
| 四国 | 吉田 達哉 | (新居浜ユネスコ協会会長) |
| 九州 | 丸尾 直彦 | (大分県ユネスコ協会連盟会長) |
| 全国的連合組織 | 佐藤 美樹 | (公益社団法人日本ユネスコ協会連盟会長) |
| 全国的連合組織 | 鈴木 郁香 | (柏ユネスコ協会理事) |

Ⅲ 会 議

1. 総会

第75回定時総会

日 時 2023年6月17日(土) 14:30-16:00

場 所 新宿エルタワー サンスカイルームA室・オンライン(ハイブリッド)
東京都新宿区西新宿1丁目6-1 新宿エルタワー30階

議 長 会長 佐藤 美樹

議決権を有する社員の総数 613名

総議決権数 613個

出席社員数 410名(委任状提出者を含む)

出席の社員が有する議決権数 410個

議 題

【決議事項】

第1号議案 2022年度事業報告書(案)及び計算書類等(案)

第2号議案 理事・監事の選任

第3号議案 評議員の選任

第4号議案 定款・諸規程の改定について

【報告事項】

・2023年度事業計画書及び収支予算書

・ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について

2. 理事会

第554回理事会

日 時 2023年5月20日(土) 14:00-16:30

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 22名 ※理事総数26名

議 題

I. 第553回理事会議事要録の確認(3月末に内閣府提出済)

II. 決議事項

1. 会員の入会

2. 2022年度事業報告書(案)及び2022年度計算書類等(案)

(1) 2022年度事業報告書(案)

(2) 2022年度計算書類等(案)

3. 第75回定時総会の開催(案)

4. 次期役員(理事・監事)の選任における会長推薦理事候補(案)

5. 役員賠償責任保険の更新

6. 定款・諸規程の改訂について

III. 協議事項

1. 部会等からの報告・提案事項等

- (1) 財務部会
 - (2) 組織部会
 - (3) 定款・諸規程改定検討部会
 - (4) 世界寺子屋運動部会
 - (5) 地域代表・青年代表理事会議
2. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について

IV. 報告事項

1. 選考委員会報告
2. 2023年度-2024年度 理事会・評議員会・総会開催日程及び運営方法について
3. 担当理事からの報告(アクサユネスコ協会 減災教育プログラム 参加校募集について)
4. 2022年度 事業進捗報告
5. 代表理事の職務執行状況報告(2023年3月12日~2023年5月19日)
6. 後援・共催事業
7. 第79回日本ユネスコ運動全国大会 in 富士吉田について
8. その他

第555回臨時理事会

日 時 2023年5月26日(金) 14:30-15:00

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 11名、委任状11通 ※理事総数26名

議 題

I. 決議事項

1. 理事・監事の選任について
2. 評議員の選任について

第556回理事会

日 時 2023年6月17日(土) 13:15-13:45

場 所 新宿エルタワー サンスカイルームB1室・オンライン(ハイブリッド)
東京都新宿区西新宿1丁目6-1 新宿エルタワー30階

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 22名 ※理事総数26名

議 題

I. 第554回理事会・第555回臨時理事会議事要録の確認

II. 決議事項

1. 会員の入会
2. 大学ユネスコクラブの内規及び協力協定書の締結等について
3. 第80回日本ユネスコ運動全国大会 in 新居浜の開催について(案)

第557回理事会

日 時 2023年6月17日(土) 16:30-17:00
場 所 新宿エルタワー サンスカイルームB1室・オンライン(ハイブリッド)
東京都新宿区西新宿1丁目6-1 新宿エルタワー30階
議 長 会長 佐藤 美樹
出席理事数 22名 ※理事総数22名
議 題

I. 決議事項

1. 代表理事・会長の選定
2. 副会長、代表理事・理事長の選定
3. 名誉会長、顧問の選任

II. 事務連絡

1. 役員の手続き等について
2. 2023年度-2024年度 理事会・評議員会・総会開催日程及び運営方法

第558回理事会

日 時 2023年7月15日(土) 14:45-16:45
場 所 新宿エルタワー サンスカイルームB2室・オンライン(ハイブリッド)
東京都新宿区西新宿1丁目6-1 新宿エルタワー30階
議 長 会長 佐藤 美樹
出席理事数 21名 ※理事総数22名
議 題

I. 第556回理事会・第557回理事会議事要録の確認

II. 決議事項

1. 会員の入会
2. 2023年度以降の理事会運営に関する基本方針
・基本方針(案)
・部会等の設置(案)
3. 「ミャンマー寺子屋プロジェクト」バングラデシュでの教育支援実施について(案)

III. 協議事項

1. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について

IV. 報告事項

1. 第57回評議員会議題(2023年8月5日(土))
2. U-Smileプログラム(地域協働型包括教育支援事業)進捗報告
3. 2023年度事業進捗報告
4. 代表理事の職務執行状況報告(2023年6月18日~2023年7月14日)
5. 後援・共催事業
6. その他

第559回理事会

日 時 2023年9月16日（土）14：00-16：00

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 18名 ※理事総数22名

議 題

I. 第558回理事会議事要録(案)の承認

II. 決議事項

1. 会員の入会

2. 宇部市とのこどもの未来共創に向けた提携と協力に関する協定書の締結の件

III. 協議事項

1. 部会等からの報告・提案事項等

(1)組織部会

(2)財務部会

2. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について

IV. 報告事項

1. 担当理事からの報告（学校関連・災害復興支援）

2. 2023年度 事業進捗報告等

(1) 2023年度 事業進捗報告

(2) ネパール寺子屋視察報告

3. 用途指定のない遺贈の配分について

4. 代表理事の職務執行状況報告(2023年7月16日～2023年9月15日)

5. 後援・共催事業

6. 日本ユネスコ国内委員会関係報告

7. その他

第560回理事会

日 時 2023年11月11日（土）14：00-16：30

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 15名 ※理事総数22名

議 題

I. 第559回理事会議事要録(案)の承認

II. 決議事項

1. 災害子ども教育支援事業 運営委員の交代について

III. 協議事項

1. 部会等からの報告・提案事項等

(1)組織部会

(2)財務部会

(3)U-Smile部会

2. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について
3. 会員種別代表理事・評議員の定数の見直し（増員）について

IV. 報告事項

1. 担当理事からの報告（学校関連・災害復興支援）
2. 青年理事報告
3. 2023年度 中間決算
4. 2023年度 事業進捗報告等
5. 情報セキュリティ監査報告
6. 代表理事の職務執行状況報告(2023年9月16日～2023年11月10日)
7. 後援・共催事業
8. 日本ユネスコ国内委員会関係報告
9. その他

第561回理事会

日 時 2024年1月20日（土）14：00-16：30

場 所 新宿エルタワー サンスカイルームB2室・オンライン（ハイブリッド）
東京都新宿区西新宿1丁目6-1 新宿エルタワー30階

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 18名 ※理事総数22名

議 題

I. 第560回理事会議事要録(案)の承認

II. 決議事項

1. 会員の入会

III. 協議事項

1. 部会等からの報告・提案事項等
 - (1) 組織部会
 - (2) 財務部会
 - (3) U-Smile部会
2. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について
3. 2024年度事業計画書（案）・収支予算書（案）
4. 役員報酬規程の改定について（案）

IV. 報告事項

1. 令和6年能登半島地震対応について
2. 担当理事からの報告（学校関連・災害復興支援）（世界寺子屋運動）
3. 青年理事報告
4. 2023年度 事業進捗報告等
5. 第58回評議員会議題（2024年2月10日（土）オンライン開催）
6. 代表理事の職務執行状況報告(2023年11月12日～2024年1月19日)
7. 後援・共催事業
8. 日本ユネスコ国内委員会関係報告
9. その他

第562回理事会

日 時 2024年3月16日（土）14：00-16：00

場 所 新宿エルタワー サンスカイルームB2室・オンライン（ハイブリッド）
東京都新宿区西新宿1丁目6-1 新宿エルタワー30階

議 長 会長 佐藤 美樹

出席理事数 19名 ※理事総数22名

議 題

I. 第561回理事会議事要録(案)の承認

II. 決議事項

1. 2024年度事業計画書（案）・収支予算書（案）・資金調達及び設備投資の見込み（案）
2. 会員種別代表理事・評議員の定数の見直し（増員）について
3. 役員報酬規程の改定について（案）
4. 役員賠償責任保険の更新

III. 協議事項

1. 部会等からの報告・提案事項等

(1)組織部会

(2)財務部会

(3)U-Smile部会

2. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について

IV. 報告事項

1. 担当理事からの報告（学校関連・災害復興支援）
2. 青年理事報告
3. 第58回評議員会にて提出された意見（第58回評議員会議事要録より）
4. 2023年度 事業進捗報告等
5. 代表理事の職務執行状況報告(2024年1月20日～2024年3月15日)
6. 後援・共催事業
7. 日本ユネスコ国内委員会関係報告
8. その他

3. 評議員会

第57回評議員会

日 時 2023年8月5日（土）14：00～16：00

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席評議員数 58名 ※評議員総数 94名

議 題

・第56回評議員会 議事要録の確認

1. 理事・評議員の紹介
2. 2023年度以降の理事会運営に関する基本方針

3. 2023年度事業計画書に対する今後に向けた意見（要望）等
4. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について
5. 2023年度の評議員会日程について
6. その他

第58回評議員会

日 時 2024年 2月10日（土）14：00～16：30

場 所 オンライン開催

議 長 会長 佐藤 美樹

出席評議員数 62名 ※評議員総数94名

議 題

- ・ 第57回評議員会 議事要録の確認
 1. 令和6年能登半島地震対応について
 2. ユネスコ・アジア文化センターとの合併検討について
 3. 会員種別代表理事・評議員の定数の見直し（増員）について
 4. 2024年度 事業計画書(案)・収支予算書(案)
 5. 部会等からの報告
 - (1) 組織部会
 - (2) U-Smile部会
 - (3) 世界寺子屋運動
 - (4) 青年理事
 6. 2023年度 事業進捗報告
 7. 役員報酬規程の改定
 8. その他 2024年度評議員会日程について

4. 理事会運営体制

(1) 部会等

第 543 回理事会（2021 年 7 月 17 日）で設置を承認。

任期：2023 年 4 月から第 76 回定時総会(2023 年 6 月 15 日)まで

ア. 組織部会

今後の組織（構成団体会員、個人会員）の活性化、特に次世代育成のための中長期ビジョンの策定。

(1) テーマ・課題

- ①加盟協会・クラブの活性化のための調査、施策形成
- ②個人会員の在り方の検討
- ③次世代育成のための調査と施策形成
- ④ユネスコ国内委員会（同小委員会を含む）との連携の推進、共創プラットフォームとの協働

⑤構成団体の新規登録への資格審査

(2) 構成メンバー

部会長：大津和子(副会長)

部会員：安達仁美(理事)、佐藤直子(理事)、長坂亮介(理事)、串田昭光(評議員)

(3) 開催日

2023年4月14日(オンライン開催)

イ. 定款・諸規程改定検討部会

今後の組織のガバナンス、手続き規程、コンプライアンスを含めた抜本的な検討とそれに則した定款・諸規程の見直しを行った。

(1) テーマ・課題

①定款の見直し

②関連諸規程の見直し

③ポストコロナ時代の総会、理事会、評議員会の在り方の検討

(2) 構成メンバー

部会長：二瓶和敏(理事)

副部会長：吉崎晴子(理事)

部会員：小竹三恵子(理事)、松岡盛人(理事)

(3) 開催日

2023年4月19日

ウ. 地域代表・青年代表理事会議

理事長のもとに、地域代表、青年代表理事会議を開催した。特に今期は、青年会員の活性化に関し議論を重ねた。

(1) テーマ・課題

①全国大会の在り方の検討と調整

②ブロック代表者会議の在り方の検討

③都道府県連絡協議会の位置づけの検討

④青年の活性化の検討

⑤女性の役割の検討

⑥地域間、地域内、各協会・クラブのICT活用の推進

※「定款・諸規程改定検討部会」のテーマ「③ポストコロナ時代の総会、理事会、評議員会の在り方の検討」についても検討。

(2) 構成メンバー

議長：見上一幸(理事・東北)

委員：地域代表理事： 廣田美貴子(北海道)、佐藤直子(関東)、吉崎晴子(関東)、
今村信大(中部東)、小竹三恵子(中部西)、山中健(近畿)、土居英雄(四国)、
中山峰男(九州)

青年代表理事：長坂亮介、中谷祐太

(3) 開催日

2023年4月28日、(オンライン開催)

(2) 部会等

第 558 回理事会（2023 年 7 月 15 日）で設置を承認。

任期：2023 年 7 月から 2025 年 6 月まで

ア. 組織部会

今後の組織（構成団体会員）の活性化、及び次世代育成のための施策形成を行うとともに、各テーマや課題について施策等の検討を行う。

(1) テーマ・課題

- ①会員の入退会並びに加盟協会・クラブの活性化のための調査、施策形成
- ②次世代育成のための調査と施策形成
- ③ユネスコ国内委員会(同小委員会を含む)との連携の推進、共創プラットフォームとの協働
- ④プロ研、全国大会の運営組織、プログラム等の在り方検討、主管ユ協への助言
- ⑤会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

(2) 構成メンバー

部会長：見上一幸（副会長・東北）、副部会長 白石勝洋（理事・九州）

委員：地域代表理事：大津和子（北海道）、池田敬介（関東/東京）、岸正博（関東/東京以外）、
松前進（中部東）、平井花画（中部西）、山中健（近畿）、鈴木昌徳（中国）
青年代表理事：今中麻美、中谷祐太
賛助団体会員代表理事：名須川知子

(3) 開催日

2023 年 9 月 1 日、2023 年 10 月 30 日、2024 年 1 月 11 日、2024 年 3 月 7 日
（すべてオンライン開催）

イ. 財務部会

財務状況の把握、年次収支計画実施状況の精査、確認を行う

(1) テーマ・課題

- ①財政状況の把握
- ②修正計画・実施状況の精査
- ③ユネスコ・アジア文化センターとの合併に係る財政面の精査・検討
- ④会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

(2) 構成委員

部会長：平松哲郎（評議員）

副部会長：土居英雄（理事）

委員：鈴木佑司（理事長）、大矢和子（理事）

(3) 開催日

2023 年 9 月 6 日、2023 年 10 月 24 日、2024 年 1 月 10 日、2024 年 3 月 1 日
（すべてオンライン開催）

ウ. U-Smile 部会

2023 年度にスタートした U-Smile 事業の確実な実施と関連する課題解決、特に外務有識者等を登用し、議論の活性化を図り、透明性の向上、不祥事の防止、ダイバーシティとインクルージョンの尊重など、本事業の発展に資する運営を行う。

(1) テーマ・課題

- ①本事業の運営方針や施策の検討
- ②本事業を推進するために必要な助言
- ③担当する事務局の業務執行状況、並びに運営状況の監督
- ④会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

(2) 構成委員

部会長 : 小山田隆 (理事)

副部会長 : 牧貞夫 (外部有識者)

委員 : 鈴木佑司 (理事長)、望月浩明 (評議員)、大西良 (外部有識者)、
渡辺由美子 (外部有識者)

(3) 開催日

2023 年 9 月 12 日、2023 年 10 月 25 日、2023 年 12 月 22 日、2024 年 2 月 26 日
(すべてオンライン開催)

エ. 連盟幹部会

(1) テーマ・課題

統一的施策をスピーディーに実行すべく、各部会・会議間の連携を図る。

(2) 構成委員

佐藤美樹(会長)、大津和子(副会長)、見上一幸(副会長)、鈴木佑司(理事長)、
小山田隆(理事)

(3) 開催日

2023 年 9 月 15 日、2023 年 11 月 10 日、2024 年 1 月 19 日、2024 年 3 月 15 日
(すべてオンライン開催)

(3) 担当理事

協会連盟の業務執行において、喫緊または中長期で取り組む必要がある事業案件について、会長はその担当理事を任命する。

担当理事は当該事項の対応を、事務局担当部を指導し、案件の政策化を図る。

ア. 未来遺産担当理事 井上波

- ①未来遺産事業の今後の方針案の策定、事業協賛活動等
- ②遺産関連事業 (ジャカルタ・ユネスコ事務所との連携)
- ③会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

イ. 学校関連（ESD/US含む）災害復興支援担当理事 安田昌則

- ①減災教育・復興支援事業の今後の方針案の策定
- ②ESD・ユネスコスクール関連事業の今後の方針案の策定（構成団体の活動活性化施策との関連）
- ③会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

ウ. 世界寺子屋運動担当理事 永田佳之

- ①コロナ渦以降の海外事業の課題の整理
- ②運動の評価と課題の洗い出し
- ③会長、理事長、各部会長からの要請事項、及び事務局担当部との協議にて決定した事項

附属明細書

2023 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2024 年 6 月

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟